

未知なる社会へ挑戦 「かがやく とくしま」	未知なる課題を超越 「しなやか とくしま」		未知なる魅力を創造 「ときめく とくしま」	
笑顔かがやく 人づくり	強靱安心な 暮らしづくり	未来志向の 環境づくり	革新にみちた 産業づくり	感動あふれる 地域づくり
<p><b>(結婚・出産・子育て支援)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当事者のライフスタイルや希望に沿った選択が徳島県では可能となっている。</li> <li>職場の働き方改革や、地域での子育て支援を行う環境が整い、子育て環境が充実している。</li> <li>都市部と地域の格差が全くなり、同等なサービスが受けられる。保育サービスが充実化、多様化し安心して子育てに取り組める。</li> <li>男女の出会いの場が増え、晩婚化、非婚化を食い止める。</li> <li>病児・病後児保育サービスなどやそれを代替するサービスが充実した社会</li> </ul>	<p><b>(県土強靱化)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震、津波の予測機能が発達し、適切な高さの堤防が作られている。</li> <li>防災対策に力を入れることで、それが観光資源にもなるのでは。</li> <li>避難場所をつくる(もっと高い建物)。</li> <li>避難する場所や地震に強い建物、津波が越えてこれないものを作る。学校も耐震工事をする。</li> <li>四国地方は、台風や水害、土砂災害の被害の危険性を多分に含んでいるため、線路が通るところの地盤強化などを進め、新幹線を通す。</li> </ul>	<p><b>(環境・エネルギー)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水素車が今のガソリン車のように燃料を入れるのが当たり前になっている。</li> <li>自然エネルギーをより導入し、自然を生かした自然都市を創造する。</li> <li>地産地消の自然・再生可能エネルギーで徳島県は自然・再生可能エネルギーの宝庫になっている。</li> <li>自然エネルギーの導入が進み、スマートな徳島県として世界に認知されている。</li> <li>ショッピングセンターや市役所などに水素ステーションを設ける。</li> </ul>	<p><b>(経済成長(産業育成))</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域産業が活性化し、徳島の魅力が全国に浸透している。</li> <li>Wi-Fiのつながりやすさを利用してIT関連の企業が進出して雇用が生まれる。</li> <li>教育に力を入れることで優秀な人材が県内企業に残り、新しいビジネスをつくり出す。</li> <li>中小零細企業を支援し、地域産業を維持させ、産業の衰退に伴う人口減少の阻止。</li> <li>インターネットを使って東京などと会議ができるので、全国の企業の支社を徳島に呼んだり、徳島発の会社と他県・他国の会社をつないだりするシステムを開発すればよいと考える。</li> </ul>	<p><b>(文化・スポーツ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然豊かで様々な文化に触れ合える県。</li> <li>阿波おどりや人形浄瑠璃といった徳島の大切な文化を残していき、それを受け継いで絶やさないようにしていく。</li> <li>マリンスポーツを始めとした、徳島だからこそできるスポーツや運動(ラフティング、ダイビング、歩き遍路、阿波おどりなど)が全国に発信され注目を浴びている。</li> <li>プロスポーツが身近に感じることができ環境が整っている。</li> <li>何かに取り組んで、世界に認められることも大切だと思うが、まずは住んでいる人たちが徳島の文化や伝統を楽しむのが一番だと思う。そうすれば自然に魅力を伝えられる。</li> </ul>
<p><b>(教育・青少年育成)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どこに住んでいても多様な教育を受けられる環境が整っている。</li> <li>小学校からパソコンを使った授業(簡単なプログラムからネットリテラシーなど)を実施して、ITに興味を持ってもらい、徳島からITに精通した人材を育成していく。また、そのための資金援助も積極的に行う。そのために、親世代にITの必要性を説明し理解を得ていく。</li> <li>グローバル化が進むからこそ、英語の教育にもっと力を入れ、留学などの貴重な経験をたくさんの方がするべき。</li> <li>徳島の魅力を考える、ふれることのできる場をつくる(授業、イベント)。他の学生や大人と交流する機会をつくる。</li> <li>若い人が積極的に行動し、地域が若い世代にとって良い環境にしていく。高齢者にとっても良くなるように両者ともに住みやすい街になるようにする。</li> </ul>	<p><b>(地域防災力)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県は防災をより呼びかけ、防災のための施設をつくる。学校は避難訓練を続ける。企業は地震などの災害が起きたときの対処法を常に考えておく。県民は常に防災に対する意識を持っておく。地震が来ても「なんとかなる」という考えをなくす。</li> <li>避難訓練を増やす(具体的に、県や地域全体です)。保育所ぐらいいから地震について教える。</li> <li>ハザードマップや避難経路をほとんどの県民が知っておくように周知する。</li> <li>避難所には災害時に必要な物資が常備されている。仮設トイレの種類が洋式や車いす用などがある。</li> <li>空き家が取り壊され、地域の安全性が高まっている。</li> </ul>	<p><b>(循環型社会)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然を守りそこで勝負していくべきだ。自然を守るために、ゴミ分別を増やしたり、大学で行われている、ポラティアの授業をもっと活用するといふ。</li> <li>幼い頃からゴミの分別や、ポイ捨て禁止を覚えさせる必要がある。企業は、分解できるプラスチックが再利用可能なビンを積極的に使用する。</li> <li>徳島は都会よりも自然が多いと思うので、3Rなど環境のことを考え、大切にしていかなければいけない。</li> <li>節電、節水、節約、ゴミのリサイクル等に取り組む。</li> <li>人々が循環のシステムを知り、1人1人が実行する。</li> </ul>	<p><b>(イノベーション)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IoTやAIといった技術を使ったものが次々と徳島で実践されている。</li> <li>ドローンを操縦できる人材がたくさん生まれており、社会で活躍している。</li> <li>徳島県の高齢者率は多くなると思うので、もっと技術的に(IoTやロボット、AI(人工知能))発達していくようにしたい。</li> <li>小学校からの情報教育の発達が不可欠である。その上で機械技術に疎い高齢者世代、また機械を十分に使いこなせると能力を過信している若年層への技術の周知、伝授が必要である。</li> <li>とくしま全県CATVネットワークを基礎にしてとくしま全県情報スーパーハイウエーを構築する。徳島県全県4K・8K教育の光の道(4K・8K電子黒板の普及)、徳島県全県4K・8K医療の光の道(4k・8k遠隔地医療の普及)</li> </ul>	<p><b>(国際交流・多文化共生)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島が世界中に知られている。</li> <li>外国での徳島の認知度向上。外国人のためのsignを増やして住みやすくする。</li> <li>徳島の魅力である「田舎感」と「IT環境」を活かして、国内の移住者が過疎地を活性化し、海外からの移住者が徳島全体の技術を押し上げていく。</li> <li>また、様々な文化を受け入れることのできる徳島で、諸外国の文化が融合し合い、新たな文化の発信地となっている。(再掲)</li> <li>徳島の魅力を世界に発信していく。</li> <li>国から「経済技術開発特区」と「国際医療観光IR特区」の認定を受けた徳島県に国内外から飛行機でビジネス客や観光客が徳島阿波おどり空港に降り立っている。</li> </ul>
<p><b>(高齢者・障がい者)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者だからといって限度を決めつけず、定年退職した後でも、再就職しやすい環境を整えることが重要。</li> <li>シニア世代が活躍し、地域全体で魅力をPRし、定住者が増えている。</li> <li>バリアフリーを全面的に進め、高齢者・障がい者、車椅子利用の人たちが気軽にそして安全に過ごせる都市にしてほしい。</li> <li>障がい者が社会進出しやすいように地域社会全体で支えあう仕組みを作る。</li> <li>障がい者・高齢者の移住を推奨し、誰もが幸せに暮らせる町づくりをしていくべきだと思う。</li> </ul>	<p><b>(医療)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島県内の病院で様々な医療技術を試して、さらに高度な医療が提供される。</li> <li>どんな災害にも耐えうる(倒壊、停電等が起こらない)医療施設、福祉施設が複数整備されている。</li> <li>災害時、非常時の医療の確保。中等教育程度の段階で全ての人が一定の医療知識と技術をつけ、簡易な医療行為が行える資格を創設する。</li> <li>徳島県には医師が多いので、そこを生かしてはどうか。また、企業がもっと進んで医療に投資してほしい。</li> <li>他国のすぐれた医療を取り入れる。</li> </ul>	<p><b>(生活環境)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水質が良く、天然の生物が住んでいる。</li> <li>自然は残しつつ、これからのニーズに合った生活を提供できる態勢を整える。</li> <li>排気ガスなどの量を増やさない。</li> <li>工場などでつくられる薬品等(シャンプー・油・薬・肥料)は自然にやさしいものを使う。</li> <li>今ある豊かな自然を守るために、ポイ捨てをしたり、二酸化炭素や有害物質を出したりしない。</li> </ul>	<p><b>(働き方改革、雇用)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な仕事に就くことができ、子ども・大人から高齢者、全ての人が生きがいをもって生活していける。</li> <li>企業が多く集まり、職業や働き方を選択できる。</li> <li>若い世代が職につけ収入面等、将来に対する不安がない社会</li> <li>非正規雇用が増えている現代で安定した収入を得ることが少子化対策になると思うので、非正規雇用ではなく正規雇用が増えるといい。</li> <li>テレワーク在宅勤務制度が普及している。</li> </ul>	<p><b>(観光交流(インバウンド))</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年を通して楽しめる観光資源やツアーが充実している。それにより観光客が増加している。観光客が1年を通して訪れるため、ホテル不足は解消されている。市町村ごとに観光資源があるため、長期間にわたり徳島県に観光客が滞在することができ、2次交通が整備され、簡単にそれぞれの市町村へ訪れることができている。</li> <li>マチャアソビで行われるeスポーツに海外からの参加者が増えている。</li> <li>私たちが徳島県の良さに気づいていない。日頃から自分の地域の良いところを意識して、その良さを日本中に発信していくべき。</li> <li>「アニメの街」と言うには少し弱い部分がある。もっと推進してもいいのでは。</li> </ul>
<p><b>(人権・男女共同参画)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが仕事をするのができ、活躍出来る社会の実現。</li> <li>人種や性別、年齢に関する差別等を減らし、1人1人を尊重していく。学生だけではなく、大人にも人権を再び学んでもらう。</li> <li>古い固定観念にとらわれるのではなく、若い世代がしっかりと多様性に理解を深め、次世代に受け継いでいく必要がある。</li> <li>学校教育で偏見をなくすよう徹底する。障がいを持った人、外国人などが気持ちよく働ける環境づくりをする。</li> <li>性別に関係なく能力に応じて社会に参加できるように、障壁となる社会システムを取り除かれているだけではなく、固定観念、偏見等からくる慣行もなくなっている。結果の平等の重視。</li> </ul>	<p><b>(健康)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な薬の開発、食生活の改善により糖尿病の患者数が激減。</li> <li>県は糖尿病などの生活習慣病を少なくするために対策をしたり、県民に呼びかける。学校では病気になるための対策法や予防の仕方を学ぶ機会を増やす。</li> <li>徳島の糖尿病患者が多いことは有名であり、もっとスポーツをできる施設を建設し、イベントを開催し、県民自らが盛り上げるなどできたらいい。</li> <li>阿波藍は血糖値低下や、体重増加抑制の効果があるので、サプリや食藍の企画をする。</li> <li>糖尿病死亡率ワースト1位からいち早く脱出するため、「食」の重要性について、呼びかけてほしい。</li> </ul>	<p><b>(自然共生)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他県では失われつつある自然が豊かな徳島に、多くの観光客が自然に触れ合うためにやってくる。日本列島で徳島ほど海・川・山が身近に存在し、自然が守られ、動植物との共生が成り立っている土地はない。コウノトリも群れを成して生活している。</li> <li>農業体験をして興味を持って、自然を大切にすることを学んでもらう。豊かな自然で観光客を増やし、その収入で環境を保全する。</li> <li>森林保存や環境意識の向上により、稚魚放流や産卵床の整備、河川の魚道等の増加により、多くの魚介類がとれるようになる。</li> <li>徳島に生息する動植物や、徳島の自然を再認識できる動画づくりなどで、県民に関心を寄せてもらう。</li> </ul>	<p><b>(6次産業化・ブランド化)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業・漁業の後継者をもっと増やす。</li> <li>徳島のワカメやすだち等をもっと他県のみならず世界に発信して欲しい。</li> <li>徳島の農林水産物が世界で認められるためには、より高品質な物をつくり、世界にアピールする。</li> <li>企業を他県から呼び農業をする。また、児童生徒が農林水産物の仕事について理解し研究できるように、学校の総合的な学習の時間などを利用し興味を持たせる取組を実施する。</li> <li>有名者に徳島の食や良いところを発信してもらおう。</li> <li>徳島の農林水産物が世界で認められるためには、より高品質な物をつくり、世界にアピールする。</li> </ul>	<p><b>(高速交通ネットワーク)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新幹線が通り、高速道路も発達している。</li> <li>高速道路が県全体にありどこにいくのにも快適になっている。</li> <li>徳島阿波おどり空港における国内線と国際線の両方の定期航空路線の充実</li> <li>徳島県が徳島阿波おどり空港を「第二関西国際空港」の位置づけを行った上で、徳島阿波おどり空港を「四国徳島国際空港」に空港の名称を改定する。</li> <li>高速道路を南部まで通す。</li> <li>四国地方は、台風や水害、土砂災害の被害の危険性を多分に含んでいるため、線路が通るところの地盤強化などを進め、新幹線を通す。(再掲)</li> </ul>
<p><b>(協働・生涯学習・リカレント等)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見返りを求めない、寄附文化が根付いている。チャリティマラソンなど、自治体主催の様々なイベントを寄附と結び付けて開催</li> <li>(例：寄附付き商品の販売、参加料の一部を寄附するなど)</li> <li>徳島の魅力である「田舎感」と「IT環境」を活かして、国内の移住者が過疎地を活性化し、海外からの移住者が徳島全体の技術を押し上げていく。</li> <li>また、様々な文化を受け入れることのできる徳島で、諸外国の文化が融合し合い、新たな文化の発信地となっている。</li> <li>移住者への補助やサポート体制が強化され、移住しやすい環境が整っている。「田舎への移住なら徳島へ」というような「ブランド」ができていく。</li> <li>海外からの移住者を積極的に受け入れたり、そのような情報発信を行う。</li> <li>働きながら気軽に体力維持・向上の時間が保障される生涯教育の態勢を整える。</li> <li>学校、特に大学では高齢者を積極的に受け入れ、生涯学習を後押し。</li> </ul>	<p><b>(くらし・消費・食の安全)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>治安がいいのが1番。田舎の1番の良さは安全安心に豊かな暮らしができること。県外などバリバリ働く時代を過ごした後に安心なところで住めるような場所、それが徳島であつたらいいと思う。</li> <li>食の安全安心、食品ロスにも配慮したグルメ県</li> <li>犬・猫殺処分ゼロへ。</li> <li>徳島県全体で交通ルールを守り、県民が安全・安心に暮らせるように呼びかける。</li> <li>学校で、正しいマナーやルールをしっかり学ぶ。</li> </ul>	<p><b>(森林づくり)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての山林、森林、私有林が適切に管理され、荒廃した山林はなくなっている。災害、温暖化の危険を回避。</li> <li>森林を守る。</li> <li>森林を壊さずにキープする。</li> <li>木を大切にしていってほしい。</li> <li>徳島県全体が植物を大事にし、森などをなくさないようにしたい。</li> </ul>	<p><b>(新次元林業)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての山林、森林、私有林が適切に管理され、荒廃した山林はなくなっている。災害、温暖化の危険を回避。(再掲)</li> <li>森林を守る。(再掲)</li> <li>森林を壊さずにキープする。(再掲)</li> <li>木を大切にしていってほしい。(再掲)</li> <li>徳島県全体が植物を大事にし、森などをなくさないようにしたい。(再掲)</li> </ul>	<p><b>(地域創造)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市部は交通が発達し、田舎部は自然が豊かで調和している徳島Onlyな社会環境。</li> <li>レベル5の「自動運転モデル都市」を世界に先駆けて実現していくべき。高齢者の多い地域に自動運転バスなどをいち早く導入して世界のモデルとなしてほしい。</li> <li>100歳時代に適した、年齢に即した歩き遍路が可能となっている。海外からのお遍路さんに混じって、高齢のお遍路さんが自分のペースで、県民との交流をしながら、安心安全な宿泊先を利用しながら、楽しそうに自然を眺めながらたくさん歩いている。</li> <li>高齢者が増え続けているため、どんな世代にも対応した移動手段の普及が広がれば良い。</li> <li>人口の減少を防ぐには、どんな人が徳島に来てほしいか考え、その来てほしい人がよく使うものや、人気のありそうなものをつくらばいい。</li> <li>少子高齢化や交通の不便さを逆手にとって低コストかつ、そこにしかない価値を生み出す。</li> </ul>